

# 令和6年度第1回射水市地域公共交通活性化協議会 会議録

- 1 開催日時 令和6年5月31日（金）午後3時00分～午後4時00分
- 2 開催場所 射水市市役所 本庁舎 会議室202・203
- 3 出席者 本田会長、寺林副会長、景山委員、有田委員（代理：朝野氏）、見角委員（代理：新木氏）、山崎（永）委員、石橋委員（代理：山崎（城）氏）、源代委員、福田委員（代理：重吉氏）、宮腰委員、原田委員、上野委員、白川委員、安田委員、渡辺委員、山田委員、中尾委員、油谷委員、田中委員、楠委員、中松委員、太田委員、長谷川委員
- 事務局 明野市民生活部次長、春木生活安全課長、水島班長、土橋主査、笹島主任
- 欠席者 石黒委員、新倉委員、片岡委員、篠田委員

## 4 会議概要

### (1) 開会

### (2) 組織運営事項

#### ① 会長互選

会長 富山大学都市デザイン学部教授 本田氏

#### ② 副会長指名

副会長 射水市地域振興会連合会副会長 寺林氏

### (3) 射水市地域公共交通計画の策定について

**資料1**について事務局より説明

（質疑応答なし）

### (4) 射水市地域公共交通網形成計画の進捗について

**資料2**について事務局より説明

（会長）

- ・万葉線のキャッシュレス決済の導入の時期はいつなのか。

（事務局）

- ・令和6年の秋ごろから導入予定となっている。

(会長)

- ・ 出前講座は昨年度 2 回実施したとのことだが、実施後の参加者の反応は伺っているのか。

(事務局)

- ・ 令和 5 年は、大島、新湊地区で各 1 回実施した。自家用車を利用する高齢者の方が、出前講座を機会に自分の身近な公共交通を知り、利用するきっかけとなったと思うが、参加者の反応は確認できていない。

(会長)

- ・ 個人的に参加者の反応に興味があるので、分かれば教えてほしい。
- ・ 出前講座は今年度も実施する予定があるか。

(事務局)

- ・ 出前講座は、今年度も実施予定であり、既に 2 件ほど予約が入っている。

(委員)

- ・ 市内のカーシェアリングは縮小されているようであるが、今後の継続意向はあるのか。

(事務局)

- ・ 民間事業者の協力により、当初は小杉駅前 1 台、パスコ 2 台の計 3 台を配置していたが、パスコではそれほど利用がなかったため、1 台をアルプラザに移動している。
- ・ また、今年 4 月より、タイムズ 24 が市営駐車場の指定管理を受けており、サービスの一環として小杉駅前に新たに車両が 2 台配置されている。

(会長)

- ・ 私もカーシェアリングを利用している。カーシェアリングが拡充されると、移動の利便性が向上するのでありがたい。

(会長)

- ・ 高齢者の免許返納について、高齢者は増えているが、免許返納者は減少しているという認識でよいか。

(事務局)

- ・ ご認識の通り。

(委員)

- ・ のる一と射水は私もよく利用している。小杉駅前から利用する方を見かけるが、利用方法が分からない方が多いようである。正面口に

は利用説明するスタッフがいたが、南口にはいないようであるので、南口でも定期的にスタッフが配置されてればよいと思う。その点について何か計画はあるのか。

(事務局)

- ・利用者への説明についても、今後検討していきたい。

(会長)

- ・デマンド交通は、利用方法が分かりにくい点があるため、特に射水市外の利用者に対して以下に利用しやすい環境を作るかが大切。射水市民はもちろん、市外の利用者にとっても、利用しやすい交通を目指す事が必要。

(5) 射水市地域公共交通計画アンケート調査結果について

**資料3**について事務局より説明

(会長)

- ・今回のアンケート調査の対象者は16歳以上85歳未満という認識で良いか。

(事務局)

- ・ご認識の通り。

(会長)

- ・アンケート内容の内、「オンデマンド交通が導入された場合の感想」で、少し不安だが説明があれば乗りたいと回答した方々を対象に、乗車体験等行うことで利用率が上昇すると思うが、いかがか。

(事務局)

- ・新しい公共交通であるのーと射水は敷居が高く利用しづらいという方が多かったが、事前説明会を行うことで、敷居が下がり、さらに実際に利用したことでその利便性に気が付く方が多かった。そのような点から、事前説明会は大切であった。

(会長)

- ・説明も大切であるが、実際に利用してもらい、体験してもらい事も非常に大切である。利用の敷居を下げるために、乗車体験会の実施等も検討してはいかがか。

(事務局)

- ・のーと射水を利用したお出かけ会を行った地域もあったとのことである。そのような利用方法を広めることで、のーとの利用拡大

を進めていきたい。

(委員)

- ・公共交通の利用について、実際には自分事になっていない方が多いと感じる。知人に飲み会等の往路での利用を薦め、実際に利用してもらった際は好感触であった。運転できる方は自分事になっていないので、紙による利用方法の説明だけでなく、利用事例を示すことで、より利用の想像が付きやすいと思う。
- ・また、のるーとのアプリは、出発地、目的地を入力すると、乗降車するバス停が表示されるシステムになっており、実際に利用して初めて分かることであった。初心者が利用を断念しないために、アプリの詳細についても説明があった方がいい。
- ・のるーとが運行していることは、射水市の自慢であるので、ぜひ周知してほしい。

(事務局)

- ・紙の説明では利用のイメージがわきにくいこともある。具体的な利用について説明会で示すことで、自分や周囲の方の生活の利便性が上がることをアピールしたい。
- ・利用者説明会では、基本的な操作説明のみとなっているので、実際にお出かけ教室等を行うことで、利用のきっかけとしたい。また、利用者の中には Youtube で利用方法についての動画を発信されている方もいるので、そういったものを示すことで、多くの方に利用していただきたい。

(6) 閉会